

※ 今週のアウトルック (9/9~9/13)

先週後半は、FRBパウエル議長の発言などをきっかけに株価が上昇し、リスクオフムードが広がる中、為替もドル高円安の流れとなりました。

今週は、予想よりも悪かった米国雇用統計の結果をどう見るのか、追加緩和策期待で払拭できるのか、まずそのあたりに焦点が集まりそうです。

先週ドル円は、パウエル議長の発言をきっかけに後半は円安の流れとなりました。週末の米国雇用統計は予想よりも悪い結果となり、大きく下落しましたがその後、追加対策期待などから徐々に値を戻し、106.9円台で終了しています。

今週は、今週は米国雇用統計悪化の結果を東京市場がどう受け止めるかに、まずは焦点が集まりそうですが、107円付近のレジスタンスを一度超えていることもあり、そのまま上昇トレンドを維持する可能性がやや高いかもしれません。

ドル円の予想レンジは105円から109円です。

ユーロ円は、116円割れからの急落危機は一度は去ったものの、まだ安心はできない状況にあるように思います。

今週、118円から119円付近のレジスタンスを越えることができれば、上昇トレンド入りとなりそうですが、116円以下を目指そうとする動きも衰えてはいないため、上昇トレンド入りできる可能性は4割程度と考えています。

ユーロ円の予想レンジは116円から119円です。

ポンド円は、上昇トレンド回復へ一歩抜け出した様子ですが、今週もし130円以下に下落するようなことがあれば、再び下落トレンド入りする可能性が強まりそうです。

ポンド円の予想レンジは126円から136円です。

米国の追加緩和期待からの株価上昇、米ドル高円安という流れとなっていますが、再び実体経済の更なる悪化予想に焦点が集まった時、トレンドが大きく変わる可能性もあるので、要人発言には注意が必要のように思います。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。